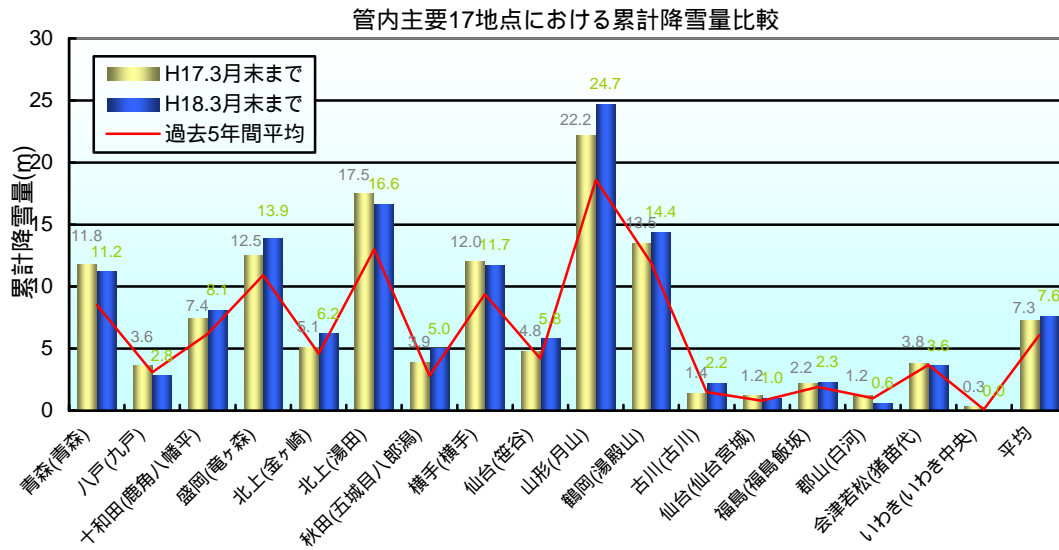


(参考資料)

管内の主要17地点における降雪の状況



通行止め量と管内の閉鎖状況

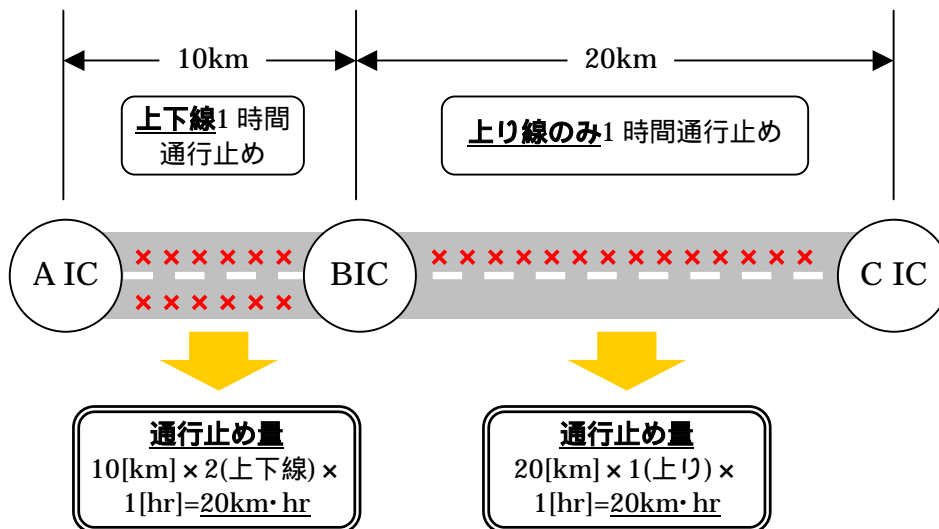
高速道路の上下線のうちどちらか一方(片側)の延長 1km の区間を 1 時間閉鎖した際の通行止め量を 1km・hr (1km×1hr)と定義しています。

この場合、今冬季の約 93 千 km の通行止め量を管内全線(延長約 1,280km)の閉鎖状況に例えると、

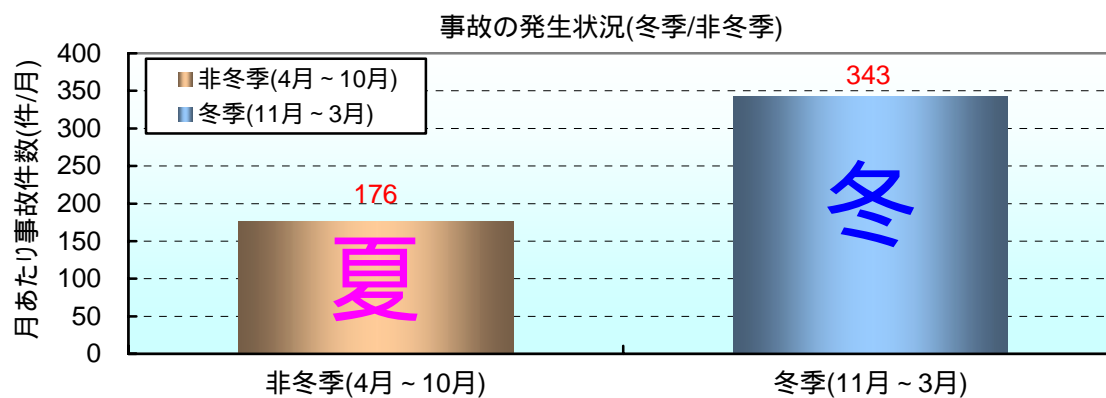
$$93 \text{ 千} [\text{km} \cdot \text{hr}] \div (1,280 [\text{km}] \times 2 (\text{上下線})) = 36 [\text{hr}]$$

となり、およそ一日半にわたり、管内の全線を閉鎖した状況に相当することになります。

【通行止め量の考え方】



平成17年度の事故発生状況（NEXCO東日本調べ）



非冬季 (4～10月)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	非冬季 合計	月あたり 件数
H17年度	147	152	154	174	278	173	155	1,233	176

冬季 (11～翌3月)	11月	12月	1月	2月	3月	冬季 合計	月あたり 件数
H17年度	182	618	278	350	287	1,715	343

終冬季における事故の発生状況（雪氷路面におけるもの）

	事故件数 (件)	うち冬用タイヤ未装着 車両が関係するもの(件)	割合(%)
3月21日(火)	8	3	33%
3月30日(木)	18	4	22%
3月31日(金)	13	4	31%
合計	39	11	28%

なお、3月第4,5週における冬用タイヤ未装着の率は、管内平均で2割以下ですが、冬用タイヤ非装着車両の事故の占める割合は3割近くと高くなっています。

雪道情報提供の充実

ハイウェイ情報ターミナル

下記の休憩施設において、運用しています。

東北道	津軽SA(上下)	花輪SA(上下)	岩手山SA(上下)
	滝沢PA(下)	紫波SA(上下)	前沢SA(上下)
	長者原SA(上下)	鶴巣PA(上下)	菅生PA(上下)
	国見SA(上下)	吾妻PA(上下)	安達太良SA(上下)
	安積PA(下)		
磐越道	磐梯山SA(上下)	五百川PA(上下)	阿武隈高原SA(下)
八戸道	折爪SA(上下)	秋田道	西仙北SA(上下)
山形道	寒河江SA	常磐道	湯ノ岳PA(下)



(情報ターミナル全景)



(操作の様子)



(情報提供画面(例))